

備前市事務事業評価シート

事業の概要			
事業開始年度	平成17年度～		
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	01 生活しやすいまちづくり
	小項目	施策	11 道路
事務事業名	06	道路等維持管理事業	
根拠法令・例規等			道路法
問 担当課(室)			都市整備課
合 職・氏名			土木係長 尾野田瑞穂
先 電 話			0869-64-1835
このシート作成に要した時間			4.0 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対 象 (誰・何に対して)	道路を通行する歩行者・自転車・二輪車・自動車
目 的 (何のために)	安全で安心して円滑に道路を通行するために。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	道路維持管理の不備による事故発生を未然に防ぐ。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	道路維持管理事業	既設の擁壁、道路側溝、舗装等が損傷して通行に支障が出た場合に修繕を行なう。	
	橋梁維持管理事業	橋梁が損傷して通行に支障が出た場合に修繕を行なう。	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
決算額	直接事業費		40,016	58,324	39,119	
	必要人員(人件費)	千円	1.18人	9,212	0.85人	5,801
	事業費		49,228	64,125	48,870	
	国 県 支出金			2,000		
	受 益 者 負 担					
	財 源	千円				
繰 入 金 債						
そ の 他 ( )						
一 般 財 源			49,228	62,125	48,870	
受 益 者 負 担 比 率	%		-	-	-	
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
道路維持修繕箇所数	説明	市道を維持修繕した箇所数				
結果指標	結 果 指 標 量	箇所	153	152	134	
	対 前 年 比	%	-	99.3%	88.2%	
	活 動 コ ス ト		40,016,000	58,324,000	39,119,000	
	単 位 当 た り コ ス ト	円	261,542	383,711	291,933	

(平成22年度事業)

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
		目標値(A)	0	0	0
道路の維持管理の不備が原因となる事故発生件数	実績値(B)	1	1	0	到達目標値
	達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	毎年

成果指標設定の考え方・式や説明  
道路の維持管理の不備が原因となる事故発生件数

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	A
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	B
効率性の評価	コスト		効率性評価 <A~E>
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	B
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A~E>

事業の目的やその数値目標がある成果指標に留意しながら評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	限られた予算の中で、要望のあった修繕箇所を十分精査し、危険性・緊急性の高いものから実施していく。					

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
道路施設の老朽化が進んでいることから、事業量・事業費は増えている。このことから、修繕内容を十分精査し、安全・安心の観点から危険性・緊急性の高いものから実施していく必要がある。	評価区分 <A~E>	A

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	限られた予算の中で、危険性・緊急性の高いところから実施していく必要があるが、修繕箇所の早期発見、早期対応により、費用の縮減及び事故の発生を未然に防ぐことに努める。					